

28年度 事業報告書

特定非営利活動法人 猫の幼稚園

I. 事業期間

平成28年4月1日～平成29年3月31日

II. 事業の成果

当会の主要事業である譲渡事業において、大阪市ワンニャンセンターへの団体登録3期目を迎え、前年度よりセンターからの受け入れ数を増やしたが、前副理事水野さんからの受け入れが減った事から、全体としては入園数・譲渡数とも約25%減となっている。

(水野さんからの入園数は約45%減)

また前期より授業参観を予約不要としているが、定着しているようで参加者は増加している。

ただ近年、保護猫カフェが増えており、他団体が定期的に譲渡会を開催する頻度も増えており、里親様の取り合いである事は否めない。保護猫園児の譲渡数を増加させる為にはより創意工夫が必要である。

園児の健康面に関して、パルボウイルス遺伝子検査の徹底と、ワクチン未接種猫のふれあい禁止の徹底の結果、感染症蔓延はなかったが、先天的疾患と思われる赤ちゃん猫1匹、FIP1匹、発育不良4匹、保護時から神経症状のある成猫1匹、計7匹を看取った。

夏期休暇及び年末年始の飼い主帰省等に伴う卒園生の里帰りは、例年通りの利用者数で、卒園後も、気軽に連絡を取合える良好な関係を築けている結果であると考えられる。

財政面では、センターからの預かりを中心としたことで、保護主負担金が少なくなり、結果財政を圧迫して赤字の月が続いているが、譲渡時にパルボ遺伝子検査費用を飼い主さんにご負担頂く事で、かなり改善出来ている。

また心臓の先天的疾患が見つかったかぶの医療費が高額になることが予想された為、ネットで広く医療費支援を呼びかけ、約110万円の支援金を頂いた。

かぶの心臓手術は無事成功し、至って健康に過ごしており、術後の経過が思いの外良好であった為、予想していたより療養費が掛からずに済み、支援金に余りが出たので、支援者様へ意思確認し、他の園児達への医療費に充てることに異議が無かったので、残りは一般医療費への寄付として扱い、園児達の医療は滞りなく受ける事が出来ている。

III. 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

(1) <事業名>猫の保護、飼育管理及び飼い主探し事業

<内容>遺棄された猫の保護、飼育、新しい飼主の譲渡を行う

入園数：119 匹

譲渡数：110 匹 譲渡率 92.4% 27 年度譲渡率 93.1%

死亡数：7 匹 死亡率 5.9% 27 年度死亡率 8.8%

<実施場所>当法人事務所

<実施日時>毎日

<事業の対象者>遺棄された猫及び行政に収容された譲渡対象猫と飼主希望者

<収入>4,763,994 円 (保護主寄付金・譲渡時寄付金・一般寄付金・基金寄付金
チャリティショップ寄付金)

<支出>4,697,850 円 (猫の医療費・飼育費・産廃処理費・交通費他)

(2) <事業名>猫のお見合い会、授業参観の主催

<内容>猫のお見合い会や保護主出席の授業参観の開催を行う

<実施場所>当法人事務所

<実施日時>土日祝

<事業の対象者>猫飼育希望者や保護主

<収入>434,700 円 (授業参観参加者会費)

<支出>384,883 円 (授業参観用品費)

(3) <事業名>猫と快適に暮らす為の住空間相談事業

<内容>猫と快適に暮らすための住空間のアドバイスを行う

<実施場所>当法人事務所

<実施日時>相談者の希望日

<事業の対象者>一般希望者

<収入>6,000 円

<支出>なし

(4) <事業名>猫等を一時預かるための短期預かり事業

<内容>飼主が出張等の時に猫を預かる

年末年始・ゴールデンウィーク・夏期休暇時 それぞれ延べ 11 匹

<実施場所>当法人事務所

<実施日時>希望日 (年末年始・ゴールデンウィーク・夏期休暇時等)

<事業の対象者>卒園生家族及び一般希望者

<収入>146,000円 預かり料金

<支出> 99,821円 (フード及び衛生消耗品費)

(5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

- ・ 当該年度は実施せず

IV. 総会の開催状況

(1) 通常総会開催

- ・平成28年4月24日 11時～12時30分
- ・特定非営利活動法人猫の幼稚園にて
- ・正会員数13名中11名 (うち評決委任者2名)
- ・27年度事業報告及び決算の承認
- ・28年度事業計画及び予算の承認